

# 教育思想史学会

第16回大会コロキウム概要

2006年9月18日(月)  
13:30~16:30  
日本女子大学  
目白キャンパス百年館

教育思想史学会

History of Educational Thought Society

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田 1-1-1

日本女子大学人間社会学部教育学科内

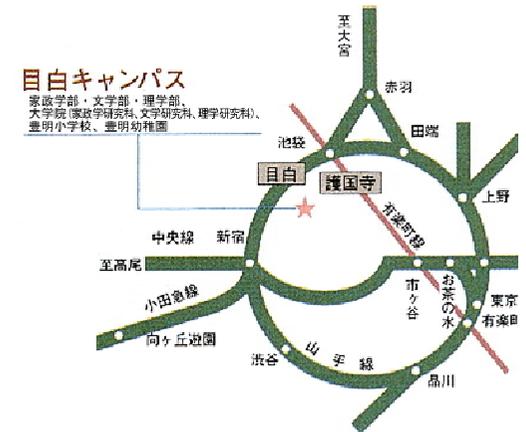
TEL: 044-952-6873

URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/hets/>

E-mail: [hets@fc.jwu.ac.jp](mailto:hets@fc.jwu.ac.jp)

CCCCCCCCCCCC

〔路線案内図〕



- \* JR山手線目白駅下車徒歩15分
- \* 営団地下鉄有楽町線護国寺駅からは、下車徒歩約10分

〔日本女子大学目白キャンパス周辺図〕



- \* JR山手線目白駅前より **新宿駅西口・椿山荘行き都バス(白61)**  
(大会当日は、夏期休暇中のため、日本女子大学行きスクールバスは運行していません。ご注意ください。)
- \* 東京メトロ有楽町線護国寺駅下車徒歩約10分

## 文字の 拡張 : 文字と教育の思想史 pt.2

企画	柴山英樹 (聖徳大学) 渡辺哲男 (日本女子大学)
司会	森田伸子 (日本女子大学)
報告	杉本卓 (千葉工業大学) 柴山英樹 渡辺哲男

一昨年の本学会大会・コロキウムで企画された「文字と教育の思想史」の続編である。今回は声/身体と文字の結節点と「教育」をめぐって、4人の報告者が自由にそれぞれの(歴史研究の)視点から報告を行った。今回もそうした報告のスタイルを継承しつつ、より今日的な文字の状況、そして声との直接的な対応関係をもたない「表意文字」を用いる日本語独特の問題の検討を出発点として議論を進めてみたい。たとえば、顔文字やギャル文字といった、若い世代がメールのなかで用いている新しい視覚記号としての「文字」の登場の意味や、最近流行している「ブログ」における読み書きの問題、あるいはその顔文字を起点とした、日本/西洋の事例を用いての「映像」と「文字」の境界線についての議論。さらには「絵本」やアニメーション作品などにおける、リズムや音を誘発する文字…。以上のような事例を具体的な素材として検討を行うことにしたい。そして、これまでの歴史研究の延長線上に今日における多様な「文字」を位置づけ、マルチメディアの時代において私たちが文字を学習することの意義を考えたい。

## 身体モノローグ/ダイアローグ

企画	弘田陽介 (関西大学)
司会	弘田陽介
報告	池田文一 (池田醫院院長) 石田泰史 (武術操身法遊武会主宰) 藤川信夫 (大阪大学、コメンテーター)

身体および体育史をめぐって、この学会において何度も議論がなされてきた。そのような議論を踏まえて、日本の文化に根ざした身体技法の実践家を招き、身体にどのようなアプローチが可能かを問うワークショップ形式のコロキウムを行います。いくつかの身体技法の手ほどきを通して、自らの身体という一人称への語りかけが、他の身体に伝わっていくという精妙な経過を辿るものにできればと考えています。またそのアプローチを通して、オウム事件以後の近年の身体および教育をめぐる変動について、多様な視座から話ができる場をつくられればと思っています。構成としては、二人の報告者による約45分づつのワークショップ、コメンテーターによる質疑、そして皆様を交えての議論などを行う予定です。なお、当日は実際に身体を動かす時間を多くとりたいため、事前にテキストとなるものを遊武会HP (<http://homepage2.nifty.com/ubk/>)に用意しておきます。また「学会コスチューム」とは別に、動ける格好やタオルを持参していただければ幸いです。

## シュタイナー教育思想の現代的意義を問う

企画	今井重孝 (青山学院大学)
司会	今井重孝
報告	西平直 (東京大学) 衛藤吉則 (広島大学) 今井重孝

コメンテーター 矢野智司 (京都大学)

シュタイナー教育に対しては、ますます注目度があがっているが、ルドルフ・シュタイナーの教育思想が教育思想史の中でどのように位置づけられるのかについては、まだ本格的な検討がなされていない。そろそろそうした作業を始めるべき機運が熟してきたように思われるので、その手はじめとしてコロキウムにおいて、シュタイナー教育思想の現代的意義を問うというテーマを取り上げてみたい。シュタイナー教育思想には、独自の発達段階論、独自の感覚論、気質論、教師論、授業論など多くの鉱脈があるが、もちろんすべてを取り上げることはできない。今回は、「日本とシュタイナー」というテーマを補助線としてシュタイナー教育思想の現代的意義を測定してみたい。いいかえると、日本を迂回路としてシュタイナーの教育思想の現代的意義に迫ろうというわけである。具体的には、今までの日本におけるシュタイナー教育思想の受容の特徴と、日本の芸道とりわけ世阿弥の思想とシュタイナー思想の共鳴具合、シュタイナー教育思想と日本の現代思想、現代科学思想との響き合い、この三つの視角から、シュタイナー教育思想の現代的意義を考えてみたい